

2025 年度 授業評価アンケート

1. 授業評価アンケートについて

2. 授業評価アンケートの実施方法・回答結果について

(1) 実施方法

(2) 各教員宛通知内容

(3) 授業アンケート結果

①-1 前期授業評価アンケート結果 (1 学年)

①-2 後期授業評価アンケート結果 (1 学年)

②-1 前期授業評価アンケート結果 (2 学年)

②-2 後期授業評価アンケート結果 (2 学年)

1. 授業評価アンケートについて

本学では、授業内容や教育方法の改善における組織的活動の一環として、学生に対する授業評価アンケートを年2回(前期・後期)実施し、その結果を公表することになりました。各担当教員は、アンケート結果を真摯に受け止め、今後の授業改善に役立てています。

つきましては、今回実施した標記アンケートの結果について公表します。

2. 授業評価アンケートの実施方法・回答結果について

(1) 実施方法

本学では、前期、後期の2回授業アンケートを実施しています。

①前期授業評価アンケートでは、2025年4月1日～2025年7月11日(9月を除く)まで前期授業を開講後、定期試験を実施し、定期試験終了後にアンケートを実施しました。

後期授業アンケートでは、2025年10月1日～2026年1月16日まで後期授業を開講後、定期試験を実施し、定期試験終了後にアンケートを実施しました。この授業評価アンケートでは、本学1学年、2学年の学生を対象に実施しました。アンケートは無記名回答とし、学生が用紙記入しました。

2025年度前期 学生による授業評価 (1学年)					
このアンケートは、「学生による授業評価」に関する内容です。 以下の①～③の質問項目に該当する科目5つに○をつけて下さい。					
①	特に理解度の高かった科目を5つ挙げなさい。				
②	特に興味深かった科目を5つ挙げなさい。				
③	特に難度の高かった科目を5つ挙げなさい。				
※通年の科目は後期に確認します。					
		開講 時期	授業内容		
			①理解度	②興味	③難度
基	ス	ポ	ー	ツ	科
					学
					概
					論
					前
					期
授業評価アンケート見本					
2025年度前期 1学年の例					
実施時期・学年により科目変更					
※2025年度は、試験期間の夜間開放および教員による					
学習サポート制度に関する項目を追加					
講義以外の学院生活について、感想、意見、要望などあれば具体的に書いて下さい。					
(教務部)					
(事務部)					

見本に示します通り、各学年前期／後期に開講された授業科目全体を示し、①理解度の高かった科目、②興味深かった科目、③難度が高かった科目について、それぞれに該当する科目5つに○をつけてもらう事としました。

また、講義の感想、意見、要望、試験対策期間の夜間開放、学習サポート制度等について、自由記載による回答としました。

(2) 各教員宛通知内容

各教員は、自分が担当する授業アンケートの結果について、全ての内容を確認します。

(3)

①-1 前期授業評価アンケート結果（1学年 10名）

前期1学年のアンケート調査は、10名に対し、前期試験終了後に実施しました。

【前期13科目について】

		開講	授業内容		
		時期	①理解度	②興味	③難易度
基礎分野	スポーツ科学概論	前期	7	3	1
	医学用語	前期	9	3	1
	運動心理学	前期	1	5	2
	社会活動概論	前期	4	2	1
専門基礎分野	解剖学Ⅰ	前期	2	2	6
	解剖学Ⅲ	前期	0	2	7
	生理学Ⅰ	前期	2	5	3
	運動学Ⅰ	前期	5	7	1
	運動発達学	前期	7	5	3
	解剖学演習	前期	5	5	9
	リハビリテーション概論	前期	0	3	9
	チーム医療概論	前期	6	2	2
	理学療法評価概論	前期	2	6	6

理解度の高かった科目は、医学用語、運動発達学、スポーツ科学概論、運動学Ⅰでした。

興味深かった科目は、運動学Ⅰ、理学療法評価概論でした。

難度の高かった科目は、解剖学演習、リハビリテーション概論、解剖学Ⅲ、解剖学Ⅰ、理学療法評価概論でした。

【自由意見について】

前期の授業内容、試験対策期間の夜間開放、学習サポート制度、その他学校生活について調査しました。

【前期授業内容についての集計結果および感想など自由記載のまとめ】

・はじめての内容で難しかったが、身近な事で具体例を出し、分かるまで指導してくれたことに満足度が高かったです。

・授業スピードも丁度良く、授業内理解や継続理解が難しく、復習が大切であることを自覚したようです。

・口頭確認だけではなく、小テストや単元毎の確認テストなど、自己の振り返りの機会を希望する意見もありました。

【試験期間の夜間開放の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(70%) ・どちらともいえない(0%) ・利用しなかった(30%)】

・7割の学生が夜間開放時間を利用し前期試験対策として学内を利用しており、利用学生の満足度は高かったです。

・勉強がはかどり、先生に質問しやすいこと、友人達と共有しあえたことなど肯定的な意見が多かったです。

・利用しなかった学生は、今後は利用したいという意見がありました。

【教員による学習サポート制度の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(30%) ・どちらともいえない(10%) ・利用しなかった(60%)】

・利用した学生は、分からない部分を何度も教えてくれて良かったという意見が多かったですが、利用が全体の3割程度と低調であった。

・利用しなかった学生が6割もあり、活用の仕方が分からなかったなど、制度利用の案内方法が不十分であった。しかし、今後利用したいなどの意見もあり、その有用性について十分な案内が必要であると考えられた。

【前期を通して、教務部・事務部への意見など自由記載のまとめ】

・教務部には、分かるまで教えてくれて助かったという意見がありました。

・事務部には、奨学金の事を分かりやすく説明してくれて大変助かったという意見がありました。

①-2 後期授業評価アンケート結果（1 学年）

後期 1 学年のアンケート調査は、10 名に対し、後期試験終了後に実施しました。

【後期 20 科目について】

		開講 時期	授業内容		
			①理解度	②興味	③難度
基礎分野	身体哲学概論	通年	0	0	5
	脳科学概論	後期	0	0	3
	医学英語	後期	5	1	0
	発達心理学	後期	1	0	1
	人間発達学	後期	0	1	5
	日常生活動作概論	後期	5	3	0
	保健体育	通年	7	4	0
専門基礎分野	解剖学Ⅱ	後期	0	4	3
	解剖学Ⅳ	後期	1	1	1
	生理学Ⅱ	後期	7	4	0
	運動学Ⅱ	後期	1	3	6
	病理学概論	通年	2	2	4
	解剖生理学演習	通年	3	5	2
	リハビリテーション医学	後期	5	5	0
専門分野	運動療法概論	通年	0	3	2
	物理療法概論	後期	3	6	6
	理学療法評価学Ⅰ	後期	1	1	2
	理学療法評価学Ⅱ	通年	6	2	3
	理学療法評価学Ⅲ	後期	1	2	1
	障害者スポーツ学	通年	2	3	0

・理解度の高かった科目は、保健体育、生理学Ⅱ、理学療法学評価学Ⅱ、医学英語、日常生活動作概論でした。

・興味深かった科目は、物理療法概論、リハビリテーション医学、解剖生理学演習、保健体育、解剖学Ⅱ、生理学Ⅱでした。

・難度の高かった科目は、運動学Ⅱ、物理療法概論、身体哲学概論、人間発達学、病理学概論でした。

【自由意見について】

後期の授業内容や学校生活について調査しました。

【後期を通して、講義の感想および意見など自由記載のまとめ】

- ・はじめに頃の講義は、緊張して慣れなかったけど、少しずつ学生生活にも慣れてきて良かったと言う意見が多くありました。
- ・講義の難度が少しずつ上がり、焦りもありながら、周囲（友達、先輩、教員など）と協力しながら取り組み、1 年前より確実に知識が増えたと実感している様子が伺えました。
- ・科目にもよるが、とても分かりやすい内容とそうでないものがあり、講義ばかりでは、集中力が続かず、周囲と話す時間などを希望する意見もありました。

【後期を通して、教務部・事務部への意見など自由記載のまとめ】

- ・教務部には、質問や疑問に対して、即座に理解できるまで教えてくれたことに、テスト対策への指導など、感謝の意見が多くありました。
- ・事務部には、気楽に何でも対応してくれたことや、奨学金の事では丁寧に教えてくれて安心だったことへの意見が多くありました。

②-1 前期授業評価アンケート結果（2 学年）

前期 2 学年のアンケート調査は、17 名に対し、前期試験終了後に実施しました。

【前期 16 科目について】

				開講	授業内容										
				時期	①理解度	②興味	③難易								
専門基礎分野	生	理	学Ⅲ	前期	10	3	4								
	運	動	学Ⅲ	前期	5	9	5								
	運	動	学Ⅳ	前期	10	10	2								
	リ	ハ	ビ	リ	内	科	学	前期	1	1	13				
	リ	ハ	ビ	リ	整	形	外	科	学	前期	4	7	5		
	リ	ハ	ビ	リ	栄	養	・	薬	理	学	前期	7	6	5	
専門分野	理	学	療	法	評	価	学Ⅳ	前期	9	11	2				
	関	節	機	能	障	害	理	学	療	法	学	前期	6	3	6
	一	般	外	傷	理	学	療	法	学	前期	5	8	5		
	脳	障	害	理	学	療	法	学Ⅰ	前期	2	2	4			
	呼	吸	器	障	害	理	学	療	法	学	前期	2	2	13	
	循	環	器	障	害	理	学	療	法	学	前期	3	3	9	
	物	理	療	法	学	前期	5	5	7						
	装	具	学	前期	2	2	2								
	日	常	生	活	動	作	学	前期	8	6	1				
	地	域	リ	ハ	ビ	リ	学Ⅰ	前期	6	7	2				

・理解度の高かった科目は、生理学Ⅲ、運動学Ⅳ、理学療法評価学Ⅳ、日常生活動作学、リハビリテーション栄養・薬理学でした。

・興味深かった科目は、理学療法評価学Ⅳ、運動学Ⅳ、運動学Ⅲ、一般外傷理学療法学、地域リハビリテーション学Ⅰでした。

・難度の高かった科目は、リハビリテーション内科学、呼吸器障害理学療法学、循環器障害理学療法学、物理療法学、関節機能障害理学療法学でした。

【自由意見について】

前期の授業内容、試験対策期間の夜間開放、学習サポート制度、その他学校生活について調査しました。

【前期授業内容についての集計結果および感想など自由記載のまとめ】

- ・講義内容の難度が上がり、理解することが多く大変だった反面、担当講師に確認したり、小テストなどが授業理解に非常に役立ったなどの意見がありました。
- ・講義方法の要望について、授業内に動画を見せてほしいことや、グループ活動や学生指名などの時間増の意見がありました。

【試験期間の夜間開放の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(71%) ・どちらともいえない(0%) ・利用しなかった(29%)】

- ・全体の 7 割の学生が夜間開放時間を利用し前期試験対策として学内を利用しており、利用学生の満足度は高かったです。
- ・具体的には、学校では集中しやすく、友達と集中できた等の意見が多く、夏場は特に涼しく勉強できて良かったという意見もありました。
- ・どちらともいえない学生、利用しなかった学生が 3 割でした。。

【教員による学習サポート制度の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(71%) ・どちらともいえない(18%) ・良くなかった(11%)】

- ・わからない内容について、聞きやすくかつ緊張感をもって取り組むことができ、分かるまで教えて下さり、以前より理解できる内容が増えた等、全体の 7 割弱の学生が、肯定的に捉えていました。

【前期を通して、教務部・事務部への意見など自由記載のまとめ】

- ・教務部・事務部共に、前期期間の対応に感謝する意見がありました。

②-2 後期授業評価アンケート結果（2 学年）

後期 2 学年のアンケート調査は、17 名に対し、後期試験終了後に実施しました。

【後期 20 科目について】

		開講	授業内容		
		時期	①理解度	②興味	③難度
専門基礎分野	生 理 学 IV	後期	2	0	3
	リ ハ ビ リ 神 経 学	通年	6	3	2
	救 命 救 急 ・ リ ス ク 管 理 学	通年	11	8	1
	精 神 医 学	後期	1	6	10
	老 年 病 学	通年	0	0	4
	運 動 学 演 習	通年	4	7	12
専門分野	理 学 療 法 基 礎 セ ミ ナ ー I	通年	8	1	0
	理 学 療 法 評 価 学 V	通年	3	8	3
	理 学 療 法 評 価 学 演 習	後期	2	3	1
	ス ポ ー ツ 外 傷 理 学 療 法 学	通年	7	10	0
	末 梢 神 経 障 害 理 学 療 法 学	通年	4	3	7
	脊 髄 障 害 理 学 療 法 学	後期	6	6	6
	脳 障 害 理 学 療 法 学 II	後期	0	1	2
	脳 障 害 理 学 療 法 学 III	後期	5	4	4
	小 児 理 学 療 法 学	後期	0	5	1
	義 肢 学	後期	0	1	9
	運 動 療 法 技 術 学	通年	11	8	5
	認 知 神 経 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 学	後期	2	5	3
	地 域 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 学 II	後期	8	4	1
	生 活 環 境 論	通年	6	2	1

- ・理解度の高かった科目は、救命救急・リスク管理学、運動療法技術学、理学療法基礎セミナーⅠ、地域リハビリテーション学Ⅱ、スポーツ外傷理学療法学でした。
- ・興味深かった科目は、スポーツ外傷理学療法学、救命救急・リスク管理学、理学療法評価学Ⅳ、運動療法技術学、運動学演習でした。
- ・難度の高かった科目は、運動学演習、精神医学、義肢学、末梢神経障害理学療法学、脊髄障害理学療法学でした。

【自由意見について】

後期の授業内容や学校生活について調査しました。

【後期を通して、講義の感想および意見など自由記載のまとめ】

- ・全体的に難度が高くなり、理解に時間もかかったりしたが、疾患や理学療法技術を深く学ぶことで、リハビリテーションとの関連について理解が深まったようです。
- ・難度が上がる中、ペア活動やグループワークなど、アウトプットすることで、理解が深まったという意見が多くありました。
- ・一部の講義で、授業資料と講師の説明内容がリンクしづらいものがあり、テスト対策にも苦慮したという意見がありました。

【後期を通して、教務部・事務部への意見など自由記載のまとめ】

- ・特記なし